

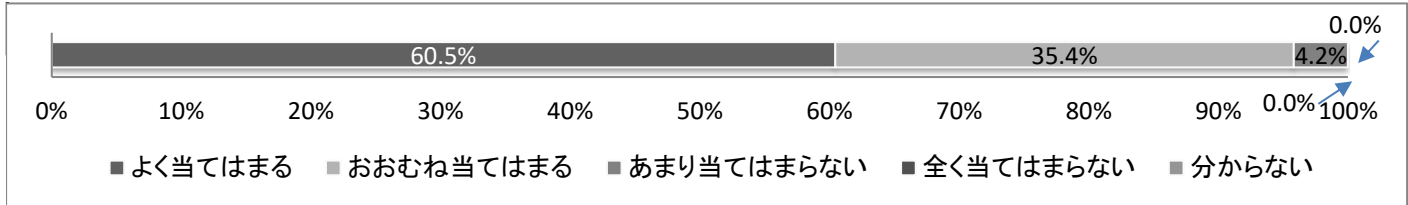
## 令和4年度「よりよい連光寺小学校をつくるために」アンケートの結果について

多摩市立連光寺小学校  
校長 関口 寿也

12月に実施しました「よりよい連光寺小学校をつくるために」にご回答いただきありがとうございました。19項目中12項目で9割前後の肯定的な評価となりました。学校が目指している教育活動をご理解していただき、お子さんの成長に寄与していることは嬉しい限りです。ご意見の中で、個別にお応えできるものは保護者会やお便り等で回答しておりますが、全体に関わる事柄等について、児童・教員に行った同アンケート結果と対比もしながら、今後の学校の取り組みをお知らせします。昨年度から始めたWebでの回答は、紙での回答の3倍となり、昨年と逆転しました。今後も、ICT化を進めてまいります。令和5年度も、連光寺小学校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

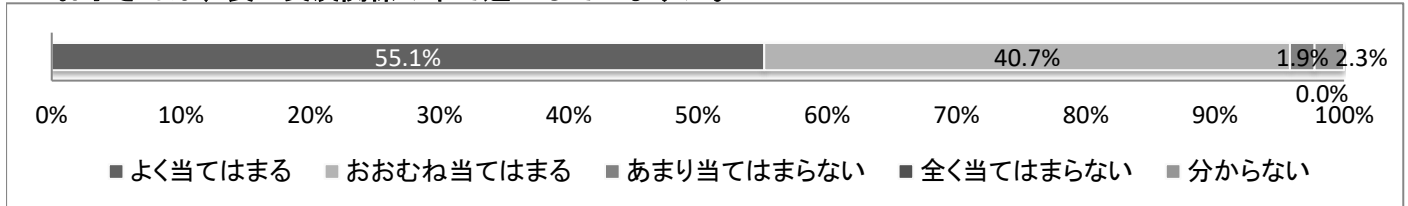
【総回答率 73.5 % ( Web回答率 74.6% / 紙面回答率 25.4% )】

### 1 お子さんは、楽しんで学校に通っていますか。(★：いただいたご意見[一部抜粋] ○：学校からの回答)



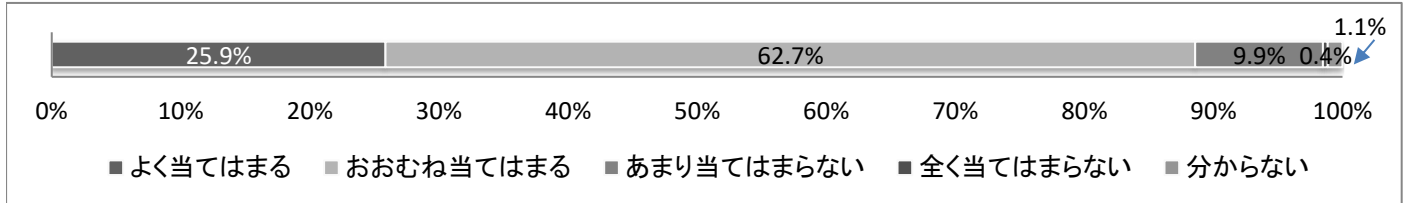
○95.8%の高い肯定評価(よく当てはまる+おおむね当てはまる)とともに、「全く当てはまらない」が0%であったことも嬉しい評価でした。子供たちの生活において、日々を楽しめることがまず第一歩です。

### 2 お子さんは、良い交友関係の中で過ごしていますか。



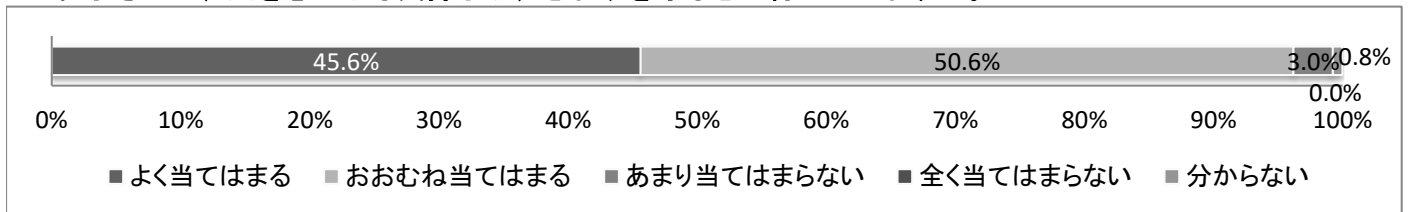
○こちらも「全く当てはまらない」が0%でした。とても嬉しいことです。ただ、児童からの回答では、1, 2 共に「全く当てはまらない」が3.0%いました。今後も児童の心情に寄り添って教育活動を進めていきます。学校で心地よく過ごせることが大切です。

### 3 お子さんは、あいさつや返事、正しい言葉遣いが身に付いていますか。

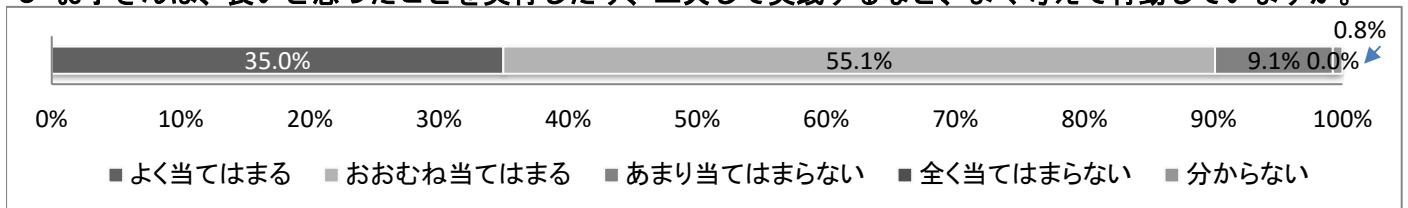


○「あいさつ」や4の「思いやりの気持ち」は、地域に根差した教育を進める連光寺小学校が大切にしているところです。児童のアンケートでは、あいさつについて「あまり当てはまらない」「全く当てはまらない」が合わせて13.2%でした。これらは継続した意識づけが不可欠です。ご家庭・地域と協力して今後も取り組んでいきます。

### 4 お子さんは、人を思いやる気持ちや、きまりを守る心が育っていますか。



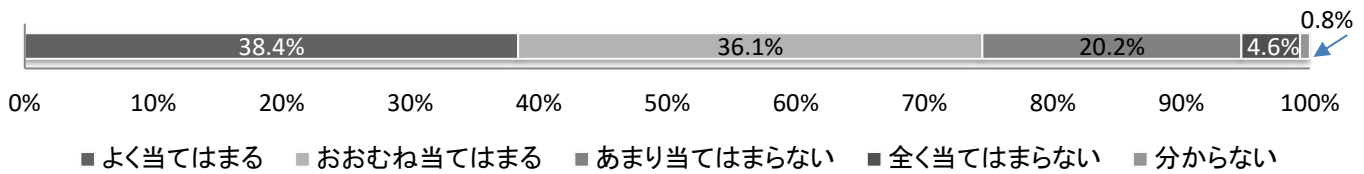
### 5 お子さんは、良いと思ったことを実行したり、工夫して実践するなど、よく考えて行動していますか。



★「登校中にごみ拾いをしている子を見て刺激を受けた様子で、聖ヶ丘図書館までの緑道に落ちているごみ拾いをしていたので感心しました。」

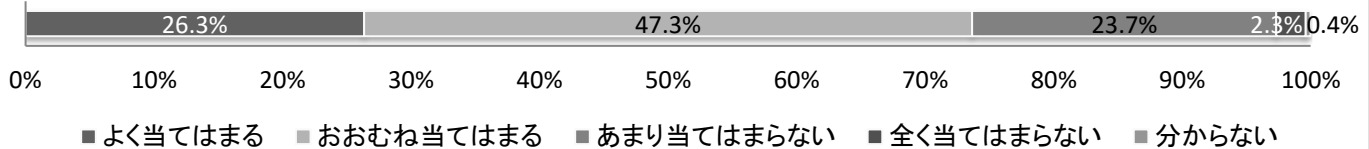
○教育の波及効果です。教育活動の中で、できることはできる限り進めていきます。ホームページでは、毎週末に「今週のごみ拾い」を紹介しています。ぜひお子さんと一緒にご覧ください。

## 6 お子さんは、運動や外遊びを通して、丈夫な体作りをしていますか。



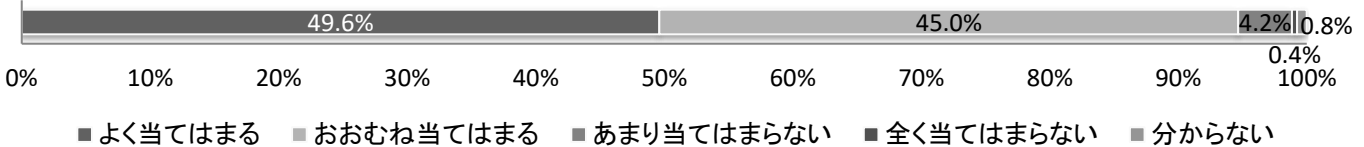
★「下校が16時を過ぎ、児童館も遠いため、土日や放課後遊ぶのは専らオンラインゲームになっています。」  
○児童がゲームをする時間は、60分程度の時間制限を設けているご家庭が多いようです。やりすぎと感じるときは、ご家庭内で必ず話し合いをして、ルール作りをすることも大切です。

## 7 お子さんは、進んで歯磨きをしたり、好き嫌いをなく食べたり、早寝早起きをするなど、健康に関心をもって過ごしていますか。



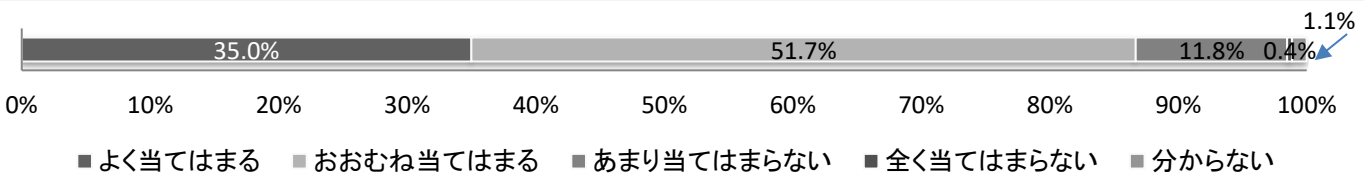
○児童の肯定評価は77.8%と、保護者とはほぼ変わらない結果でしたが、教員の肯定は35.7%と乖離が見られました。特に「早寝早起き」は教室の中でも気になる部分です。成長期の子供たちにとって、睡眠時間の確保は重要です。学習意欲にも直結します。リズムある快食快眠をご家庭で引き続きよろしく願います。

## 8 お子さんは、遊びに行くときに時間を守ったり、行き先を告げたり、自転車乗車時にヘルメットをかぶったり、不審者に気を付けたりするなど、安全に関心をもって過ごしていますか。



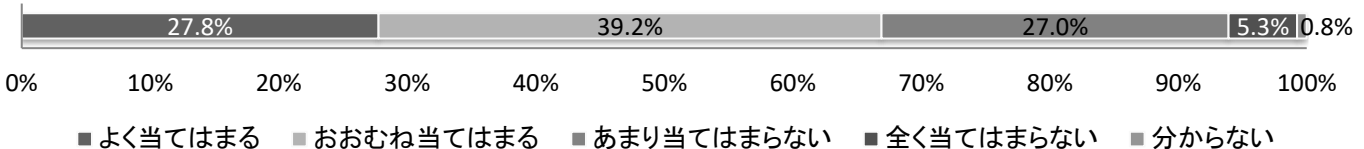
★「春日神社バス停(聖蹟桜ヶ丘行)の横断歩道の信号無視の車や足場が悪く小さい子供が自転車で横転し、車道へ倒れて車が近づいたりあぶないところを何度か見ました。学童が通ること、信号があること、もっとはっきり示せる方法を学校から警察へお願いできませんか？」  
○通学路及び学区の危険箇所については、毎年春にPTAが中心となって洗い出しを行い都・市・警察に上げているところです。春日神社のバス停横の横断歩道はガードレールがありますが、待機場所が狭く危険な箇所です。以前から要注意箇所になっているところです。引き続き表示等の改善ができないか陳情していきます(看板を立てることで歩道が狭くなる等の道路上の様々な制約があり難しいこともあります)。評価自体は大変高い肯定でした。連光寺地域は、交通安全が最重要課題です。学校においても引き続き講習会や指導を繰り返し行います。自転車乗車時にヘルメットをかぶっている子供も多くみられるようになりました。4月からは大人のヘルメットも努力義務となります。交通ルールや近隣(住民)へのマナーなど、私たち大人が良い背中を子供たちに見せ、成長を促していければと思います。また、次年度のセーフティ教室では、全学年ネットモラルの授業を実施します。

## 9 お子さんは、基礎的・基本的な学力を身に付け、意欲的に学ぼうとしていますか。



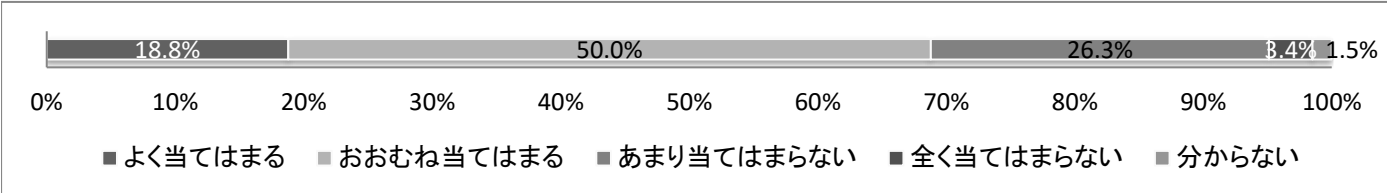
○算数習熟度別指導、朝学ルーム(補習教室)、タブレット端末のミライシード等を活用しながら、算数に限らずできる限り一人一人の理解度に合わせて学習指導を進めています。基礎的な学習に関しては、繰り返しの学習(復習)によって身に付いていきます。学校は勉強を教えるところですが、学校だけでは完結しません。これまで同様、ご家庭と協力して基礎学力の向上を図りたいと思います。

## 10 お子さんは、学校図書館や市立図書館で本を借りたり、読書をしたり、本に親しんでいますか。



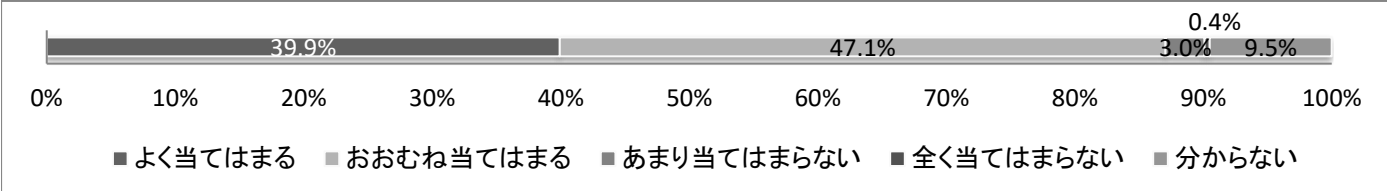
○今年度から、図書の授業時間を計画的にとり、特に低学年では毎週のように図書の時間を実施しました。児童、保護者の肯定評価はほとんど昨年度と変わりありませんでしたが、教員の評価は64.3%から75.0%に上がりました。学校生活の中で、図書に親しんでいる時間が確実に増えました。継続して実施していきます。ご家庭でも、ぜひご家族の読書タイムなど設けていただければ、さらに読書意欲が向上すると思います。ご協力をお願いします。

## 11 お子さんは、分からないことを自ら聞いたり調べたりして、自主的に学習に取り組んでいますか。



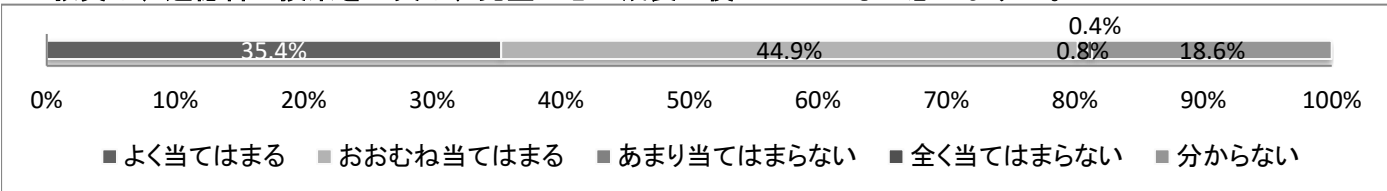
○基礎的な学力や学ぶ姿勢を身に付けるために、全学級で自主学習を宿題にしています。6年生では、現在宿題を自主学習のみとし、各自がドリルやテスト勉強、卒業文集、自分のやりたい学習等を選択して取り組んでいます。理想形は全学年がこの形をとることです。自分で自分の学びをコントロールすること。予測困難な時代になると言われる世界を生きていく子供たちに、なくてはならない生きる姿勢です。意識して今後も取り組んでいきます。

## 12 教員は、分かりやすい授業や、ICT機器の活用、少人数指導、特別支援教育などの指導の工夫によって、児童の学習意欲を引き出していると思いますか。



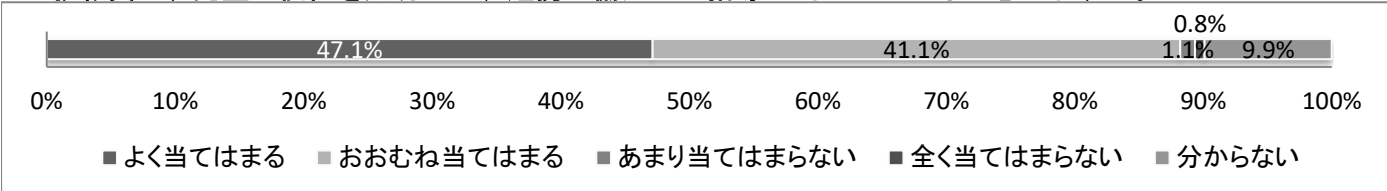
★「授業の様子や懇談会参加時、タブレット端末の活用がほとんどできていないと感じた。むしろ、機器をうまく使えないことでそれに対応する時間が割かれ、授業が進まないということもありそう。」「子供たちの発表や調べるもの、表現の方法が、タブレット端末を使っているものに偏らないであってほしいと思います。」「様々なボランティア活動や地域のゴミ拾い等、老人ホームへ行ったり幅広い年齢層の方たちとの関わりや活動を設けてほしい。」  
○肯定評価は、児童、保護者ともに87.0%の高い評価をいただきましたが、一番ご意見をいただいている項目でもありました。ICT機器の活用については、様々な考えがあります。そして、ICT機器の習熟はどここの学校も専用の時間を確保している訳ではなく、日常の授業の中で使用しながらスキルを獲得していっています。もちろん、教室内の子供たちのスキルも一様ではありません。目的をもった活用を今後も進めていきます。また、先日の生活・総合発表会でご覧いただきましたが、本格的にICT機器を使い始めた3年生は習熟の意味も含めてタブレット端末を中心に発表をまとめ、4、5年生は紙も併用しながら伝わる工夫をしました。今後も目的に沿ったICT機器の活用をしていきます。一方、コロナ禍以前は介護施設、保育園、幼稚園、商店などとの交流も実施していましたが、現在は接触すること自体が難しい場所もあります。支障がなくなり次第、再開します。ボランティア活動の一つであるごみ拾いを、児童有志と6年生の家庭科の授業で取り組んできました。学校ホームページをご覧ください。

## 13 教員は、道徳科の授業を工夫し、児童の心の成長に役立っていると思いますか。



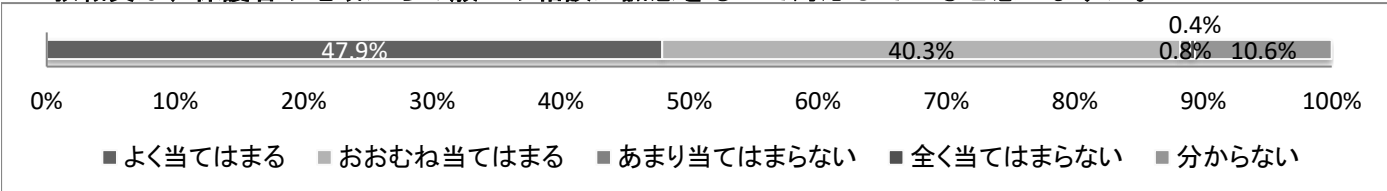
○児童の評価は「よく当てはまる」が50.1%、「おおむね当てはまる」が31.5%と昨年度同様高評価でした。多様な価値観がある中で、考え、議論する道徳が求められています。授業を通して、主体的な価値観を形成していくことがねらいです。「～しなければならぬ」は現代の道徳とは違います。年度末に教科書を持ち帰った際、ご家庭でお子さんと再度読み、意見を交わしていただけると学びが深まります。

## 14 教職員は、児童の個性を大切に、連携・協力して指導に当たっていると思いますか。



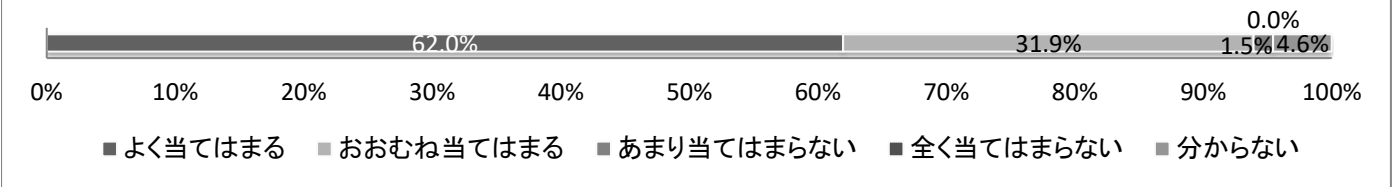
○連携を意識して日々子供たちに接していますので、昨年度を上回る88.2%の高い肯定評価は嬉しい限りです。今後も風通しの良い職員室(学校)を心がけていきます。

## 15 教職員は、保護者や地域からの願いや相談に誠意をもって対応していると思いますか。



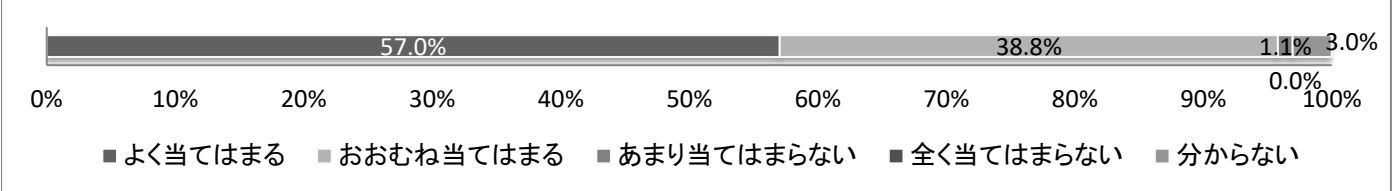
○こちら昨年度より高い88.2%の高い肯定評価をいただき、嬉しい限りです。今後も、お困り事、ご相談事、ご意見等ありましたら、ご連絡ください。子供たちの成長のために、私たちも頑張ります。

16 学校は、校外学習(社会、理科、総合)、外部の方の出前授業、栽培活動など、充実した体験活動を実施していると思いますか。



○93.9%という大変高い肯定評価以上に、「全く当てはまらない」が0%であったことを嬉しく思います。総合的な学習の時間で行っている探究学習のスタートは、体験活動です。特に低学年のうち、原風景や感性を育むための体験が不可欠で、一人一人の人生の価値観形成、人格形成に大きな影響をもたらします。すべての学びの出発点である体験活動を疎かにしない連光寺小であるために、今後も地域や協力者の方々と協働し学習を進めていきます。

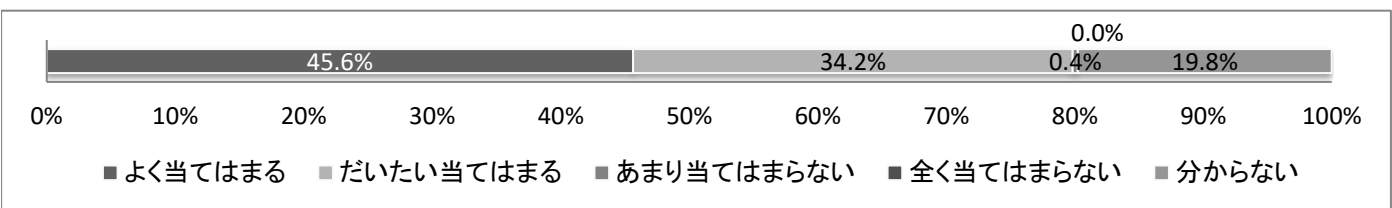
17 学校は、教育方針や教育活動の様子を、学校公開や保護者会、面談、おたより、学校ホームページ、メール配信を通じて、十分な情報発信をしていると思いますか。



★「情報発信について 様々な方法を用いて、出来る限りの情報発信をしてくださっていると感じます。」「ホームページ”日々の様子”はいつも楽しく拝見させていただいています。学校としての取り組みや他の学年の様子もわかってとてもいいです。」

○95.8%の肯定評価をいただきました。また、「全く当てはまらない」が0%であったことも、力を入れている部分だけに嬉しい限りです。コロナ禍の対応も、次年度は風向きが大きく変わりそうです。楽しみです。

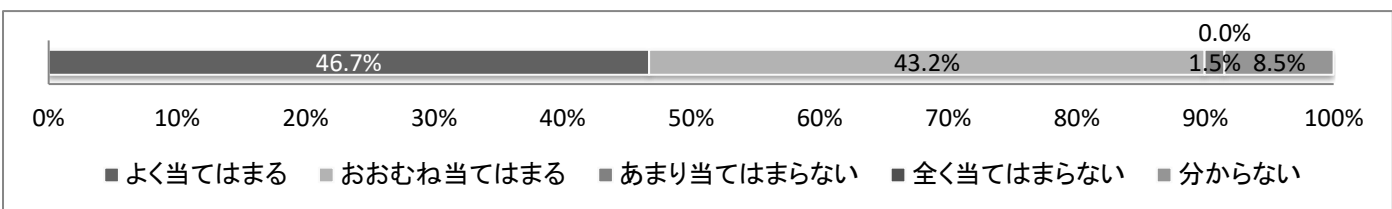
18 学校は、校舎内外の施設や設備の整備や、省エネ、リサイクル、脱プラスチックなどのエコ活動に努力していると思いますか。



★「うさぎについて、冬の厳しい寒さに小さい体で耐えていて辛そうです。特活室の一部など、学校内のどこかうさぎのコーナーとして室内飼育はできないのでしょうか。」「ウサギ小屋、ヤギ小屋など生き物がいる場所の管理が気になります。寒暖差や雨風をちゃんと防いでいるのでしょうか。」

○飼育動物についてのご意見を2件いただきました。うさぎもヤギも、寒さには比較的対応できる動物です。台風や暴風雨の際は、飼育小屋に囲いをするなど対策をしています。今年度、獣医師と連携して2年生で動物の授業を実施しましたが、その際にうさぎ小屋が現在の環境衛生基準的には厳しいという指摘を受け、うさぎは12月からケージに入れて1F特別活動室で室内飼育しています。子供たちが触れ合うことが容易となり、動物セラピー的な思わぬ効果も生まれています。うさぎもヤギも、土日や長期休業中など、お世話をしてみたいという方がいらっしゃいましたらご連絡ください。職員が冬休みにうさぎを自宅に預かりましたが、とても癒され、離れがたい思いになったようです。

19 学校は、“新しい生活様式”を見通した、オンラインを用いた取り組みや、秋休みなど、新しい教育活動の形態の工夫を行っていると思いますか。



★「秋休みを多摩市全体でそろえてほしかったです。」「秋休みがあったのは良かったです。ゆったりと過ごすことができました。ただ、他の家族はいつも通りに学校や仕事があるので、休みは3～4日程度が良いように感じました。子どもたちのために、いろいろな工夫をしてくださっていることに感謝しています。」「コロナで学年閉鎖になりましたが、こういう時こそリモート授業ができるのではないかと思います。」「学校公開をオンライン参観にしていきたい。」

○児童、保護者それぞれ88.2%、89.9%の高い肯定評価をいただくと同時に、こちらも「全く当てはまらない」が0%でした。嬉しく思います。今年度実施した1週間に及ぶ秋休みは、市内の小学校で実施しているのは少数です。夏休みの開始日や終了日なども、学校によってばらつきがあります。それぞれの学校が子供たちの教育活動を工夫していることの表れです。次年度も秋休みを実施します。秋休み後にどう過ごしたかを子供たちに聞いたところ、家族で、または少数で旅行したり、遊びに行ったりしたという話が数多く聞かれました。ご家庭で計画等していただき、有意義に活用していただければ幸いです。学級閉鎖の際は、タブレット端末を持ち帰ることで体調が良ければ自宅で授業を受けることも可能です。2月の学級閉鎖の際は、オンライン授業を実施しました。学級閉鎖のタイミングが急だと、子供たちに持ち帰らせることが難しい場合もあります。その際は、必要なご家庭は学校に取りに来ていただくこともあります。ご理解ください。また、学校公開等のライブ配信については、配信アプリの特性の問題(基本的に1対1のオンライン・ミーティング用であり小さな音はカットされてしまうノイズキャンセリングの問題がある)、タブレット端末の台数の問題(授業用と配信用に2台ずつ必要になる)、画角は固定で教室全体(児童全員)が映せない、トラブル時に対処する職員など課題があり、テレビなどでイメージするようなクリアなオンライン配信は難しい状況で実施していません。短時間でも、生き生きとしたお子さんの姿をぜひ生でご覧いただければと思います。ご理解ください。